

本気・根気・元気でキラリ輝く立花小

校長 佐々木 秀年

学校の桜の花びらが舞い、春らしく穏やかな気候に心和む季節となりました。この4月から、新1年生53名を迎え、213名の児童と24名の教職員で、令和4年度、立花小学校開校49年目の年がスタートしました。

保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。この度、4月1日より、校長として着任いたしました佐々木 秀年（ささき ひでとし）と申します。前任の大河原 正行校長から立花小学校を引き継ぎました。学校に関わる皆様のご理解とご協力のもと、児童・保護者・教職員・地域にとって、よりよい学校づくりに励んで参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

今年度は、「本気・根気・元気でキラリ輝く立花小」を合言葉に、以下の児童像を目指します。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">①自ら学び、自ら考え、判断する子<ul style="list-style-type: none">・ 目標に向かって、本気で学ぶ児童・ 自ら考え判断し、自分の考えを発信できる児童②心豊かで、助け合う子<ul style="list-style-type: none">・ 温かい心を持つ児童・ 互いに認め合い、共に高め合う児童③心身を鍛え、健康で粘り強い子<ul style="list-style-type: none">・ 何事にも最後まで諦めず、粘り強く取り組む児童・ 意欲的に運動に取り組み、心も身体も元気で健康な児童④地域で生きる子<ul style="list-style-type: none">・ 地域を大切にする児童・ 進んであいさつができる児童 |
|--|

学校では、持続可能な社会の創り手となる子供たちを育成するため、子供たちの主体性を引き出す授業を展開していきます。子供たちの主体性は、多くの体験活動の中で、成功や失敗を繰り返しながら学び得た自信が生み出すものと考えます。

そのため、周りの大人が子供を心配するあまり、先にやってあげたり、結果を教えてあげたりしてしまうことで、子供たちが自信をつけるチャンスを逃してしまう可能性があります。私たち大人も、失敗を繰り返しながら成長してきたはずです。

学校では、子供たちが自信をつける機会を授業だけでなく、できるだけ様々な活動の中で試行錯誤し、チャレンジできる場を設けたいと思っています。是非、ご家庭でも子供たちのチャレンジしている姿を応援してあげてください。

今後も、保護者・地域の皆様には、急な学校行事予定の変更等をお知らせする場合がありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に考えての判断とご理解ください。今後とも、ご支援とご協力をいただけますよう、宜しくお願いいたします。